



bauhaus

100th Anniversary of the Founding of Bauhaus
come to bauhaus! —the basis of education in art and design

4.11²⁰²⁰ sat — 5.31 sun

きたれ、
バウハウス
造形教育の基礎

開校100年

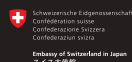
kommt
ans
bauhaus!

編集: W. グロピウス、L. モホイ=ナジ 表紙: ヘルベルト・バイヤー
機関誌『バウハウス』第2巻第1号 / 1928年 / ミサワホーム株式会社蔵 ©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2019 E3619

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

開館時間=10時~17時30分(展示室の入場は17時まで) 休館日=毎週月曜日 *ただし、5月4日[月・祝]は開館
主催=静岡県立美術館、テレビ静岡、バウハウス100周年委員会 後援=ドイツ連邦共和国大使館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人日本建築学会 特別協力=ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館 協力=専門学校桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社アトリエニキティキ 協賛=アウディジャパン株式会社、株式会社インターオフィス 企画協力=株式会社アートインプレッション、株式会社ミサワホーム総合研究所

bauhaus 100 japan Web | www.bauhaus.ac/bauhaus100/
Facebook | www.facebook.com/bauhaus100jp/



1919

年、ドイツの古都ヴァイマルに、建築家ヴァルター・グロピウスにより造形学校「バウハウス」が創設されました。実験精神に満ち溢れたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。2019年にバウハウスは開校100年を迎えました。

バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導にあたり、優れたデザイナーや建築家が育ち、時代を切り開くプロダクトデザインやグラフィックデザインが生まれました。とりわけ、入学した学生が最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。

本展覧会では、学校としてのバウハウスに焦点をあてます。基礎教育で教師たちが試みた授業を中心に、各教師の授業内容を紹介、その一端を体験していただくコーナーを設けます。さらに、基礎教育を終了したのちに進む様々な工房（金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台、建築など）での教育の成果や資料など約300点を展示します。また、当時、実際にバウハウスに入学した日本人留学生、水谷武彦、山脇巖、山脇道子、大野玉枝の4人の作品・資料を一堂に集めて紹介し、バウハウスと日本のつながりをご覧ください。

皆さんも、歴史に燦然と輝くバウハウスに、体験入学してみませんか！

【会期中イベント】

●講演会「試験に出ないバウハウス」

日時：4月12日[日] 14:00～15:30（開場13:30）
講師：柚田佳穂氏（ミサワバウハウスコレクション学芸員、本展覧会監修者）
会場：当館 講堂／聴講無料・申込不要先着順（定員250名）

●講演会「バウハウスのモホイナジ：構成主義の視覚芸術」

日時：4月29日[水・祝] 14:00～15:30（開場13:30）
講師：井口壽乃氏（埼玉大学人文社会科学部研究科・教授）
会場：当館 講堂／聴講無料・申込不要先着順（定員250名）

●講演会「DRIVING BAUHAUS」

日時：5月10日[日] 14:00～15:30（開場13:30）
講師：深川雅文氏（キュレーター／クリティック、本展覧会監修者）
会場：当館 講堂／聴講無料・申込不要先着順（定員250名）

●館長美術講座「バウハウスが建築の世界にもたらしたもの」

日時：5月24日[日] 14:00～15:30
講師：木下直之（当館館長）
会場：当館 講座室／聴講無料・申込不要先着順（定員40名程度）

●フロアレクチャー

日時：4月19日[日] 14:00～（40分程度）
集合場所：企画展第1展示室
展覧会担当学芸員が展示室にて解説を行います。申込不要、観覧料が必要です。

★小学生のための展覧会ツアー

日時：5月3日[日] 11:00～、14:00～（各回40分程度）
対象：小学生
＊小学3年生以下は保護者同伴でご参加下さい／保護者は観覧料が必要です。
定員：各回20組程度 集合場所：企画展第1展示室

★子どもとファミリーのための展覧会ツアー

日時：5月5日[火・祝] 10:30～、14:00～（各回40分程度）
対象：3歳～ ＊就学前のお子さんと保護者／保護者は観覧料が必要です。
定員：各回20組程度 集合場所：企画展第1展示室

★ともに、要申込。静岡県立美術館HPよりお申し込みください。

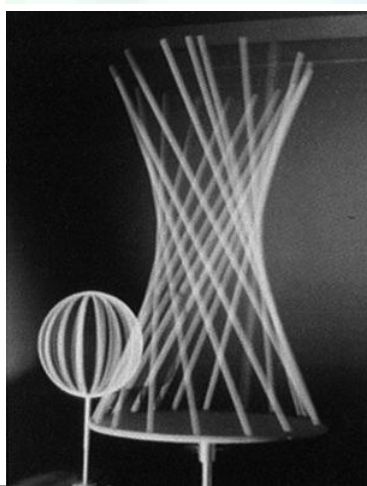
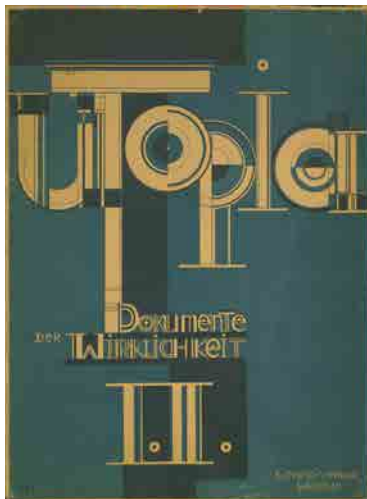
●おわくわくアトリエ 5月24日[日]

小学生から大人までを対象に展覧会に関連したワークショップを開催します。内容詳細・お申し込み方法は約1か月前をめどに美術館ホームページまたは館内配架チラシでお知らせします。

【バウハウス100年映画祭/ 静岡シネギャラリー】

本展覧会中の5月9日～22日に、バウハウスに関連した下記ドキュメンタリー作品6本を厳選して上映する「バウハウス100年映画祭」が開催されます。詳細は静岡シネギャラリーHP（<http://www.cine-gallery.jp/>）をご覧ください。

プログラムA「バウハウス 原形と神話」
プログラムB「バウハウス・スピリット」『バウハウスの女性たち』
プログラムC「ミース・ファン・デル・ローエ」『ファグス・グロピウスと近代建築の胎動』
プログラムD「マックス・ビルー 絶対的な視点」



中央上から：クリスティアン・デル／ワインのデカンター／1925年頃／ミサワホーム株式会社蔵／DR | ブルーノ・アドラー編／『ユートピア 現実のドキュメント』／1921年／宇都宮美術館蔵／DR | 山脇道子／みちこ・ておりき 購入案内／1934年頃／武蔵野美術大学美術館・図書館蔵 ©Yamawakiwaoki Michiko Archives, 2020 | マルセル・ブロイヤー／クラブ・アームチェアPS（ヴァシリー）／1925年（デザイン）、1928/29年頃（製造、スタンダードメーベル社）／ミサワホーム株式会社蔵 | ハイritz・レーヴとエドムント・コルライン／光の彫刻／1924年／ミサワホーム株式会社蔵／DR | 右上：撮影者不詳／学生たち（アトリエのバウハウス）／1932年頃／ミサワホーム株式会社蔵

観覧料	当日券	前売券・団体
一般	1,000円	800円
70歳以上	500円	400円
大学生以下	無料	—

＊団体は20名様以上 ＊収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。
＊身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

【チケット販売所】

前売り券は2020年4月10日[金]まで販売
○前売・当日券▶チケットぴあ、セブンイレブン（Pコード共通：685-069）、ローソンチケット、ミニストップ（Lコード共通：43572）、セブンチケット、CNプレイガイド（ファミリーマート）、静岡県立美術館 ○前売券のみ▶大和文庫、戸田書店（静岡本店・江尻台店）、谷島屋（ハルシェ店・マークイズ静岡店）、吉見書店（竜南店）、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

【託児サービス】

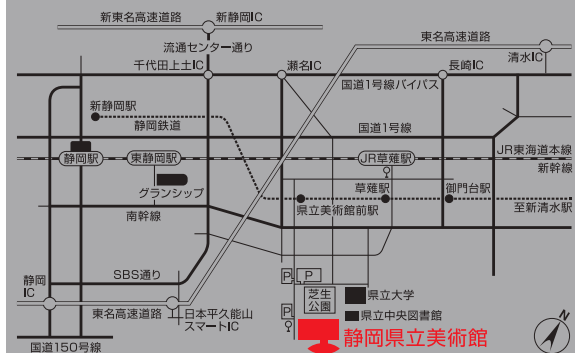
託児サービス（無料）。毎週日曜日と4/29[水・祝]、5/5[火・祝]にご利用いただけます。時間：10:30～15:30／対象年齢：6カ月～小学校就学前
＊お預かりできる時間は2時間以内です。
＊ご利用が集中した場合はお受けできないことがあります。

【次回展覧会】

【東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念 美の競演—静岡県美品展】
2020/6/13[土]～6/28[日]

【静岡県美術館展覧会のご案内】

【日・チェコ交流100周年 ミュジャと日本、日本とオルリクめぐるジャポニスム】
2020/4/11[土]～5/24[日]



【交通案内】○JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分（料金100円）○JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分○JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分○静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分○東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 Tel: 054-263-5755 Fax: 054-263-5767
ウェブサイト | <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
お問い合わせ | 総務課 Tel: 054-263-5755 / 学芸課 Tel: 054-263-5857